

本館北客間にて



笑い声が聞こえてきそうな宴会風景

新館2階新館にて



新館ができたころの宴会。男性の衣装が背広と袴姿が混ざっています。

著名人の宴会①



本館大広間の床の間の前で。緊張感のある雰囲気伝わってきます。



大鼓があつたり三味線を手にする人もいて楽しい雰囲気伝わってきます。日本髪美しい芸妓さんが華やかに盛り上げています。宴会といえば芸妓さん。当時は湯田と久保小路(現在の菜香亭から約500m南下した通り)に検査があり、全盛期には、あわせて約百五十人が在籍していたそうです。山口もそんな一時代があったということを知る貴重な資料です。

著名人の宴会②



大女優の風格

上の写真は、女優の岡田嘉子一座の集合写真です。岡田嘉子は広島出身。大正から昭和初期にかけて、サイレント映画時代のトップ映画女優でした。奔放な恋愛遍歴やソビエト連邦(現・ロシア連邦)への亡命など、波乱の生涯を送ったことでも知られます。昭和2年映画撮影中に相手役と駆け落ちし、昭和4年(1929)4月に山口で巡業していたころ菜香亭で宴会を開いたようです。

生誕102年 おごうさんアルバム

菜香亭の5代目で最後の主人だった「おごうさん」こと齊藤清子さんは、大正6年生まれ。

この宴会写真の左に4代目主人(お父さん)の膝に抱かれた幼いおごうさんが写っていました。おごうさんは「誰に対しても気さくに接する器の大きい人だった」と知る人が語るように、幼い頃のことのような環境や経験が5代目主人の人となり育んだかもしれません。



すでに堂々とした雰囲気のおごうさん



左端に4代目主人とおごうさん、右から2番目がおごうさんの母あきさん

新館は四代目によって昭和11年に増築されました。その2階の広間の宴会風景。鍋を七輪で温めているのがわかります。芸者さんの膝元には火鉢。約80年前の冬はこのようなかたちで暖をとっていたようです。写真と併せて当時使われていた火鉢やお膳や器なども展示していますので、是非「見学ください」。



箱書 昭和十年 永寿製桃模様向附

第8回菜香亭春のコンサート 万里一空(ぼんりいくう)

3月16日(土)に菜香亭大広間でコンサートを開催しました。「今井美樹(いまいみき)・二胡(にこ)・渡辺大輔(わたべだいすけ)・智詠(ちえい)・ギター」トリオと「山口県立大学手話サークル☆幸せの星」のみなさんのステージをお楽しみいただきました。



二胡は中国、ケーナはペルー、ギターはスペインということで、大陸生まれの3つの楽器が菜香亭で一つになりました。異国情緒あふれる素晴らしい演奏でした。また、お三方が被災地に復興支援で関わっておられるとのこと、いろいろなお話をしてくださりました。遠い山口から復興を祈る想いを来場のみなさんと共有することができました。県立大学手話サークルのみなさんには東日本復興支援ソング「花が咲く」の手話を披露してもらいました。美しいパフォーマンスと優しい学生さんたちの姿に会場のみなさんも感激しておられました。

.....

本コンサートは東日本復興支援をきっかけに始めたもので今回で8回目になりました。今回150人以上のご来場をいただき、お寄せいただいた寄付金は、総額7万2868円となりました。



これはすべて「ふくしま子ども寄付金」「山口東北人会」にお贈りして、復興支援に活用していただきます。ご協力誠にありがとうございました。



左から、渡辺大輔さん、今井美樹さん、智詠さん

西の菜時記

平成31年3月31日発行
第52号
発行元: 山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会

西の菜時記

平成31年3月31日発行
第52号
発行元: 山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会